

実施要項

●旅行期間 2014年3月30日(日)～4月4日(金)6日間

●旅行経費 ￥293,000.-

●最少催行人員 15名様

※最少催行人員に満たない場合、料金が変更になる場合がございます

●旅行費用に含まれるもの

- ① 交通費：航空運賃(ロミークラ) 日程記載の各交通機関
- ② スタンダードクラス宿泊ホテル料金 (1室2名様バス又はシャワー付き)
- ③ 食事：朝食付き(税・チップ等サービス料を含む)
- ④ 団体行動中の各種チップ等
- ⑤ 空港、ホテル、バス等での手荷物運搬料金 (原則としてお一人様旅行用鞆1個20kgまで)
- ⑥ 学校訪問費用
- ⑥ コーディネーター費用

●旅行費用に含まれないもの

- ① 昼食・夕食費用
- ② 通信費、手荷物超過料金等、個人的な費用
- ③ 旅行取扱手数料(¥8,400)
- ④ 成田空港使用料及び旅客保安サービス料(¥2,540)
- ⑤ 任意の旅行傷害保険
- ⑥ 燃油特別付加運賃・出入国税
- ⑦ シングルルーム追加費用(¥33,000)
- ⑧ 個人に属する旅券印紙代及びこれに伴う諸費用

●パスポートについて

パスポートは有効残存期間が6ヶ月以上必要です。有効なパスポートをお持ちでない方は各都道府県の旅券窓口にて申請をお願い致します。

●渡航手続き

有効旅券を所持していない方は、下記の書類をご用意の上、現住所にある各都道府県の旅券センターにて申請をお願いします。取得しましたら、旅券申請用とは別に写真1枚と旅券のコピーをベストワールド様にお送り下さる様をお願いします。取得までには約1週間から10日間かかります。

- 1. 戸籍抄本 1通(最近6ヶ月以内のもの)
- 2. 写真 1枚(縦4.5cm×横3.5cm)

●旅行申し込み方法

- ① 添付の旅行申込書に必要事項をご記入の上、郵送又はFAXにてベストワールド様へお願いします。
- ② 申し込みと同時に申込金(¥50,000.-)をお支払いをお願いします。(申込金は旅行総経費の内金となります。)

●申込締切 2014年2月7日(金)

●残金の支払い 3月3日(月)までをお願い致します。

●振込先

銀行名：三菱東京UFJ銀行 神田支店
 名義：ベストワールド株式会社
 口座：当座預金0451765

●キャンセルについて

旅行参加申し込み後、お客様のご都合で旅行を取り止める場合は下記の取り消し料がかかります。
 * 30日前～3日前までの場合 費用の20%
 * 2日前～出発前日までの場合 費用の50%
 * 当日及び、出発後の取消の場合 費用の100%
 ※参加と同時に航空機、ホテル等に予約金が必要とされた場合、前払いする関係上キャンセルの場合実費を頂きます。

●おことわり

旅行費用は平成24年10月現在の特別航空運賃を基準としております。出発前に大幅な為替変動などがあつた場合には、旅行費用が変更となる場合がありますのであらかじめご承承をお願い致します。

●規約事項

旅行中天然災害、火災、政府及び公共団体の命令、政変、ストライキ、戦争、暴動、流行病、隔離、税関規則等不可抗力の事由により生じた損害、盗難、詐欺、暴行、傷害等会社及び旅行会社の責任外の事故による損害または参加者が諸法令、或いは公序良俗に反する行為のための生じた損害については責任を負うことは出来ません。なお航空機、鉄道船舶などの運輸機関の運賃変更、スケジュールの変更が合った場合、その他止むを得ざる事情があつた場合などは、経費・日程を変更する場合があります。その他の規約事項は弊社旅行業約款によります。個人情報保護法にもつき、申込書に記載された個人情報について、お客様との連絡のために利用させていただくほか、旅行サービスの手配及びそれらのサービスの受領のための手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。また、当社の提携する企業の商品やサービスのご案内、旅行参加後のご意見やご感想の提供のお願い、アンケートのお願い、海外旅行のご案内等にお客様の個人情報をご利用させていただくことがあります。
 総合旅行業務取扱管理者 浦尾 雄児

◆お問い合わせは…
株式会社 教育家庭新聞社
 〒111-0053 東京都台東区浅草橋3-1-8
 TEL: 03-3864-8241 FAX: 03-3864-8245

◆お申込みは…
ベストワールド株式会社
 〒101-0047 東京都千代田区内神田1-7-4
 TEL: 03-3295-4111 FAX: 03-3295-4118
<http://www.bstworld.co.jp/bw/>



写真はイメージです。

世界一の教育を誇る力 フィンランドの教育を見る 小学校から高校まで

企画：株式会社 教育家庭新聞社
 旅行実施：ベストワールド株式会社

観光庁長官登録旅行業第145号/日本旅行業協会正会員
 国際航空運送協会(IATA)公認代理店

『フィンランドの教育を見る』参加申込書

フリガナ								生年	19	年	月	日生	性	男	既婚	
氏名								月日	(昭和	年)		別	女	未婚		
ローマ字名																
現住所	〒										電話：()					
											FAX：()					
											携帯：()					
勤務先名											電話：()					
											FAX：()					
勤務先住所	〒										E-mail：					
緊急時の連絡先	名前							(続柄：)		電話：()		FAX：()				
	〒										携帯		-			
*パスポートをお持ちの方は【残存期間6カ月以上】								発行年月日： 年 月 日								
パスポート番号：																
同室希望者名	シングル(有料)を希望する【 】 ビジネスクラス(有料)を希望する【 】															

フィンランドの小学校英語

日本でも2011年度からの外国語活動必修化が実施されましたが、ヨーロッパではすでに多くの国が小学校段階での外国語教育に取り組んでいます。小学校段階で外国語として選択可能な言語は英語に限定されていない場合も多いが、実際には英語が選択されることが圧倒的に多いようです。国により違いはあるものの、早いところでは小学校1年生から、多くの国では3年生から外国語教育を開始し、授業時数は週1~2時間程度のところが多い。

フィンランドでは、多くの場合日本で言う小学校3年生段階から週2時間、外国語教育(ほとんどが英語)が行われている。少人数でのクラス編成で知られるフィンランドの教育ですが、英語は更に少人数に分けて授業が行われています。小学校卒業段階での英語教育の到達目標は、英語の技能に異なりますがCEFRのA1からA2レベルとされている(A2とは、簡単に日常的な事柄についてやり取りが出来るレベル)。フィンランドでは小学校3年生から10年間英語を学び、これに加えて中学校段階から英語以外の2言語以上の教育を並行して行うなど、外国語教育全般に非常に力を入れています。



旅行日程表

月 日 曜	発着地	時刻	交通機関	摘要	食	
2014年 3月30日	東京(成田)発 ヘルシンキ着	11:00 15:20	航空機 (AY-74)	成田空港第2ターミナル国際線出発ロビー4階に集合。搭乗手続き終了後、直行便にてヘルシンキへ出発。着後、ホテルへ	機	
3月31日	月			午前: ■文部省訪問(予定) 初等・中等教育担当訪問。フィンランドにおける教育改革について。小学校英語、中学校英語教育についての話を聞く予定です。 午後: ■ロホヤ私立小学校 郊外の小・中学校の一貫教育校。一般的な学校だが、英語教育に力を入れている。個々の生徒に照準を合わせた授業を行っている。小学校の英語の授業を参観 ■教科書出版社訪問 (Sanoma Pro 社又は OTAVA 社) 国語の教科書5つの力「発想力」「論理力」「表現力」「批判的思考力」「コミュニケーション」を自然に身につけることが出来るように構成されています。優れた英語の教科書も出版している。教科書購入が出来ます。	朝	
4月1日	火			午前: ■ピヒティ高等学校 フィンランドでは一般的な高校。クラスはなく6週間の単位制となっている。読書の訓練で一分間の速読や毎日短い文章を読んで、その内容について説明するなどユニーク。英語や国語の授業を参観。 ≪1時間の英語授業を始めから終わりまで、出来るだけ視察する予定です≫ 午後: ■パッピランベルト小学校 実践的な英語の運用力を重視した授業、教育方法の日本との違い。外国人には英語で話しかける生徒がほとんど。どうしてフィンランド人が学校教育だけでこんなに英語を話せるのか。英語や国語の授業を参観。	朝	
4月2日	水			午前: ■クオツパヌンミ学校センター フィンランドでは新しいタイプの学校。幼稚園から中学まで一貫教育で約600人の生徒が在籍している。中学英語や国語の教育はどの様に行われて、生徒は何を学んでいるのかを見る。 午後: 資料整理など自由行動	朝	
4月3日	木	ヘルシンキ発	17:15	航空機 (AY-73)	出発まで自由行動 搭乗手続き終了後、直行便にて帰国の途へ	朝機
4月4日	金	東京(成田)着	08:55		帰国手続き終了後、解散	

ヘルシンキ滞在

※訪問先は変更になる場合があります。

ピサ【PISA】

＜Programme for International Student Assessment＞ OECD（経済協力開発機構）加盟国を中心に3年ごとに実施される15歳児の学習到達度調査。主に読解力・数学的リテラシー・科学的リテラシー・問題解決能力などを測定する。多岐選択式と記述式で構成される。アンケートによる生徒・学校情報の収集も併せて行われる。オーストラリア教育研究所を中心とする国際コンソーシアムが国際的な調査の実施・調整を行い、日本国内では、国立教育政策研究所が文部科学省などと連携して実施している。学習到達度調査。国際学習到達度調査。◆平成12年(2000)の初回調査以降、参加国・地域は増加傾向にある。日本の成績は2003年、2006年と続落し、文部科学省・学校教育関係者などにより問題点が議論されている。

フィンランドの英語教育

フィンランドでは小学校6年生くらいになると、英語で簡単な日常会話が出来ようになっている。高校生になると流暢に英語を話すようになる。なぜ、みんな英語が話せるの？フィンランド人に聞くとよく「映画も吹き替えがないんです」という答えが返ってくる。日頃からテレビ放送を通じて英語に親しんでいる。人口530万人の「小さな国」のフィンランドにとって、「英語は国を守り発展させる武器」という意識もある。フィンランドでは小学校3年生から高校まで一貫して英語教育が行われている。自治体によって異なるが、英語の授業時間数は決して多くなく、基本的に小学校3年生から中学校1年生までが週2時間、中学校2・3年生が週3時間、高校は3年間で週8時間である。しかし、教科書の内容は濃い。英語はナショナルカリキュラムにより、技能(スキル)科目、コミュニケーションの手段、他国の文化を学ぶ手段として明確に位置付けられている。生徒は中学校になると、英語と第二言語(スウェーデン語)を学べ、高校ではロシア語やスペイン語など、複数の言語が履修されている。



OECD 国際学習到達度 世界一のフィンランド

世界で最も進んだ教育先進国と言えばフィンランドです。経済協力開発機構(OECD)による2006年の国際的な学習到達度調査で科学は1位、読解力と数字は2位の結果が公表されました。これに比べ、我が国の結果は4年前の調査より科学的リテラシー(応用力2位→4位)と数学的リテラシー(6位→10位)の分野で順位を四つ、読解力でも順位を一つ下げています(14位→15位)。全般的に見て成績の低落傾向は止まっています。フィンランドなど成績上位の国と比べて理解度が低く、学習に対する意欲や関心は最低レベルといっても過言ではありません。なぜ、フィンランドの子どもは“学力世界一”なのでしょう。フィンランドの人々は「勉強は大切」「国の存続に教育は最も重要」と口々に言います。人口は530万人と東京の半分以下で天然資源も少ない。600年にわたりスウェーデン、ロシアに支配されたため、民族の結束を保つために教育は重要なよりどころになったと言われています。

順位	国名
1	フィンランド
2	香港
3	カナダ
4	台湾
5	エストニア
6	日本
7	ニュージーランド
8	オーストラリア
9	オランダ
10	リヒテンシュタイン
11	韓国
12	スロベニア
13	ドイツ
14	イギリス
15	チェコ
16	スイス
17	マカオ
18	オーストリア
19	ベルギー
20	アイルランド

科学的リテラシーの国際順位

科学的リテラシー・PISAでは、

- ①科学が関連する諸課題について、根拠ある結論を導き出すための知識の習得とその活用
- ②科学の特徴的な諸側面を知識と探求の一形式として理解する事
- ③科学と技術が物質的、知的、文化的環境をいかに形作っているかを認識する事
- ④思慮深い一市民として科学的な考えを持ち、諸課題に自ら進んで関わる事と定義している。

フィンランドの教師

フィンランドの総合学校の教師は修士号の取得が義務付けられている。教師の資格には学級担任教師と教科担当教師の2種類があり、学級担任教師には教育学の学位が、教科担当教師には各部門科目の学位の取得が求められている。フィンランドの教師にはマスターの学位が教師免除の基礎資格になっている事、教師は優れた成績の学生達がなりたがる職業のひとつであることなど、フィンランドの教育水準の高さを保証している。

コミュニケーションを高めるフィンランドの教科書

日本でもフィンランドの国語教科書が翻訳・紹介され話題になっている。ヘルシンキ市内にはフィンランドの教科書を購入できる書店があり、実際に使われている教科書を購入する事が出来る。